



# 議会だより

No. 28

2006.1月



2006年・新しい船出

## 12月定例議会

P2 ~ P3.....16年度決算・議案審議

P4 ~ P9.....一般質問(6議員)

P10 ~ P11.....委員会報告

P12.....公民館めぐり・あとかぎ

# 平成16年度決算 約96億5千万円について認定

## ■ 私たちの税金の使い道を審議しました

12月議会で平成16年度決算について審議した結果、一般会計、特別会計(8会計)ともに収支は適切であり、認定しました。認定に際して、議会で行われた質疑の一部をご紹介します。

住民基本台帳ネットワーク制度が導入され、コンピューターの保守点検料等に高額なお金が使われているが、このシステムでの住民票をはじめとする各証明書等の活用はどうか。

サービス内容の周知徹底が確立されておらず、利用数は2ケタになっていない。

長引く不況、「三位一体の改革」などで歳入が厳しい中で、予算全体の歳出の部分でどのようなところで節約をおこなったのか。

一番大きいのは人件費で、減員不補充を過去何年間か貫いてきた。平成16年度決算で2千万円程度の減額となっている。

しよくの祭典の効果について、住民のまちづくりへの参加、産業の振興、内外への町のPRなどを挙げていますが、監査委員の意見では今一度この事業を見直し、検討されたいとあるが町としてはどのように捉えているのか。

しよくの祭典も17年度で10年を迎え、区切りの年であり、監査委員からの指摘もあることから、0から検討し、対応していきたい。

歳入面で不納欠損処分とか調定額の減額が9会計の内、5会計で行われているが主な原因は何か。また、不納欠損処分の方法にはどんなものがあるのか。

不納欠損をする権限、調定の権限は長にあります。不納欠損は地方公共団体の債権が時効により消滅した債権、あるいは放棄した債権について執行しています。調定額の減額は過って調定した場合、過誤があった場合に調定の減額を行います。

公共下水道構想委託料として300万円を使っているが、どのような内容か。

印南・切目両地区における特定環境保全公共下水道の基本構想作成のための費用です。

基金の取り崩しや積み替えをおこなって、農業集落排水事業や各学校に関する事業が行われましたが、地元業者対策として、どのような事業に、どれほどの地元業者が関わったのか。

専門的なサービスの提供は町外に外注あるいは購入を求めているが、町内で出来るものは町内でというふうに取り組んでいる。

## 平成16年度決算 状況一覧(歳出金額)

単位:円

一般会計	5,874,081,426	滝ノ岡水道特別会計	6,076,733
国民健康保険特別会計	1,188,065,893	農業集落排水特別会計	338,040,022
老人保健特別会計	1,129,942,143	介護保険特別会計	572,501,382
同和新築資金特別会計	26,525,352	宅地造成特別会計	153,358,174
印南町水道特別会計	363,889,386	<b>歳出合計</b>	<b>9,652,480,511</b>

# 平成17年12月定例会 議案審議

## 平成17年度補正予算審議

**一般会計** 1億3,222万4千円を追加  
**総額** 45億5,968万8千円

**5特別会計** 7,298万9千円を追加  
**総額** 35億3,393万4千円

## 一般会計

歳入で主な増額は地方交付税で4千万円、繰越金6,100万円、雑入で6,260万6千円です。歳出で主な増額は総務費で1億2,128万円、教育費で2,863万4千円、災害復旧費で2,028万3千円です。

平成17年第4回印南町議会定例会は12月13日～21日まで開かれ、選任1件(助役)、条例改正2件、公有財産譲渡1件、工事請負1件、規約変更3件、協議会廃止1件、機構設立1件、町道路線関係1件、補正予算7件、議案計18件及び平成16年度決算の認定9件が審議され、慎重審議のうえ、全て可決・承認しました。

### 印南町助役の選任について

任期満了に伴い次の方を印南町助役に選任しました。

印南町島田986番地

古川 正義(再任)



### 公有財産の無償譲渡について

町営住宅、法経堂団地の住宅敷地11区画について無償譲渡することを可決しました。

町営住宅、法経堂団地の住宅敷地11区画について無償譲渡することを可決しました。

### 和歌山地方回収機構の設立について

平成18年4月1日から地方税及び国民健康保険料の滞納処分に関する事務等を共同処理する県内全市町村を構成団体とする和歌山地方回収機構を設立することになりました。

この案件については次のような質疑がなされ、可決しました。



**Q** この制度は印南町の負担金10万円と移管1件につき13万5千円の費用があるが、全体として採算はとれるのか。



**A** 茨城県と三重県がすでに実施している。茨城県方式を採用するが、全県

下的に800件で採算に合うと検算している。



**Q** 回収機構に移管する案件は、どのような基準で選定するのか。



**A** 県下統一した事案の選定基準を設けているが、印南町独自の選定基準も設けていきたい。



**Q** 悪質滞納者については、回収機構などに頼らなくても財産の差し押さえなどをはじめ、町独自で出来ることではないか。



**A** 差し押さえあるいは競売は出来る。過去からトータルで60件くらい差し押さえをした。

### 一般会計補正予算を審議しました



**Q** 真妻体育センターの補償金約5千万円について、地元の要望を聞いて、もしあれば補償費の一部を還元することは考えていないか。



**A** 切目川ダム対策周辺整備が具体化してきた段階で、対応していく。

**Q** 社会福祉費県補助金で介護予防・地域支援の事業とはどのような内容の事業か。



**A** 高齢者の生きがいと、健康づくりとして、老人大学の記念事業と切目川の河川敷へ花を植えました。その他、介護予防が始まるので、2名の県外研修の費用となっています。



**Q** トマト黄化葉巻病対策補助金として30万円が計上されているが、どのような内容の補助か。この補助金を受けるための条件はどうなっているのか。



**A** 全栽培面積20ha程度で、条件的なものはない。一斉防除を皆さんにやっていただいた。



平成17年度で終わる切目小・中学校の

# 「学力向上支援事業」に 対する教育委員会の見解は



榎本一平 議員



授業風景

質問 平成16、17年で切目小学校・中学校が「学力向上支援事業」を実践している。

小学校では「週1回でも学習する場を保て、子ども達、学校も助かっている」中学校では「大変ありがたい」の声がある。

この事業に対する教育委員会の見解と成果についてお聞きします。

答弁 教育長

学校側からの評価では概ね達成できている。この事業の終了後は学力補充だけでなく、居場所づくりについても考え、どのような取り組みをしていく必要があるか学校と協議して対応をしていきたい。

## 4月実施予定の障害者自立支援法に対する町の対応は

質問 昨年10月、障害者やその家族などの反対を押し切つて障害者自立支援法が成立したが、障害者の利用負担が

「応能負担」から「定率負担」になり、負担が大きくなる、この制度にかかわる重要な内容が後回しにされている、などの問題がある。

法律が成立しても具体的な実施内容が示されていない制度について、町の考えは。

また、印南町はどのように対応するのか。

答弁 町長

法が成立しても、その具体的内容が決まっていないことは多い。国の予算が財源不足で制度や負担の変更は無理もないと思う。

この制度は広域圏で取り組み4月より段階的に施行される。

## 市町村合併新法に対する対応は？

質問 市町村合併に関する新法が平成17年4月から始まりました。

新法では、自主的な合併をうたいながら合併推進のため、県の権限がより強くなっていること、財政面では地方交付税の段階的な減額や合併特例債の廃止などである。

県は合併推進の構想作成を平成17年度を目標に示すとしているが、県から町に対し合併の枠組みなどは示されているか。もし、示されていればどのような態度をとるのか。

答弁 町長

現在、県からは何も示されていないので（12月15日時点）、町は態度を決めていない。

県の合併推進審議会は8月、10月に開かれ、3回目審議会は12月19日に開き、枠組みを示したい意向のようだ。

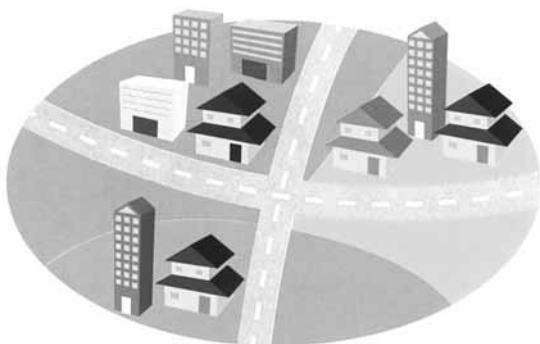
これを受けて当町も検討し、皆さんと話し合いをしながら進めていきたい。

再質問 国の「三位一体」と合併が並行して進められる状況の中、町の財政状況の厳しさは合併しない方が傷口が浅

いと考える。  
二次合併は一次合併よりメリットが少ないと思うが、町の考えは。

答弁 町長

当町は平成17年から21年まで持ちこたえていけるだろうけれど、地方交付税の動向はわからず、明日が読めない。  
当町の人口も9192人の小規模になって、基金はあるが、人口が減っていけば合併もやむをえない。



複数の市町村が一つに・・・



榎本敏夫 議員

## しよくの祭典 10年間開催について

**質問** 当町の集客企画事業トップの10年目を迎えた「しよくの祭典」で節目年に当たり、担当課から見た次の点についてお伺いします。

### 祭典10年間の経過と成果は？

**答弁** 産業課長

電源地域産業育成支援事業を活用して平成8年より取り組み、当初は食べる「食」を主とし、豆マラソンも同時開催で取り組みました。

その後、5つの「しよく」を取り入れ、豆マラソンは別イベントで取り組むようにし、当初の5年間は国の補助事業を活用し、その後は町独自の取り組みとしました。

10年間の事業費は約1億円です。成果は町の大イベントで当初集客3千人から近年では1万3千人という多客で、また毎年5百人余のボランティア町民の参加をいただき、町特産品と町のPR、産業振興と地域活性化に役立ってきました。

**再質問** 実績や成果をもっと詳細分析まとめをしていないのか。

**答弁** 産業課長  
特に細かい分析は出来ていません。



しよくの祭典「体験村」

### 行政改革や地方分権下、今後のこの祭典対策は

**質問** 10年間の経過は非常な努力の成果でしょう。来年度からの対策はいかがでしょうか。

**答弁** 産業課長

町の財政健全計画「集中プラン」の方針を踏まえて1からの見直しを行い、種々ご意見も承り対応していきたい。

### ■高速自動車道印南SAの印南でストップ 地元観光物産センターオープンへ

**質問** 懸命のご努力をいただき、去る11月25日に印南町サービスエリア上り線の土地賃借契約の締結をいただき、平成37年11月24日までの20年間、施設を建設して、日高地方唯一の観光物産販売所オープンが実現できますが、町の利用活用計画等いかがでしょうか。

なお、提言として当町は、紀伊半島のヘソの位置にあり、オープン後は利用客も多く発展を地元町として努力いただき、印南町特産物の販売と町観光と物産のPRを、そして出来れば町民の雇用の場ともなりますようご努力を願いたい。

自動販売機設置の3事業計画ですが、入口ホールでは展示展示や観光案内等、アンテナショップ的にもなり、運営方法等は今後、日高物産センター株式会社取締役会等で決定実施されていくこととなります。

**答弁** 企画課長

去る12月12日施設建設に係る工事入札も行い、工期を平成18年3月20日までとする工事契約も締結したところで

既に工事の安全祈願祭も挙行し、平成18年4月オープンへ本格的着工となったところで

利用計画はサービス施設では軽食コーナー、物産販売、



物産センターのオープンが待たれるSA

# 健康日高21(2010年目標年) -みんなでつくる健康のまち-



道修一 議員

## 保健センターの活用 状況は

**質問** 保健センターの活用状況と健康づくり推進委員会との現状と将来の構想についてお聞かせ下さい。

**答弁** 住民課長

平成14年から乳幼児検診・成人検診・予防接種等行っている。健康づくり推進委員会については平成15年から住民に募集、住民参加による「健康印南21計画」をつくる目的で23名でスタートし、月1回の活動を開始した。

当町の健康に関する現状や、高血圧症や糖尿病等の学習を2年間重ねた。平成17年4月、新たに健康づくり推進委員会を結成し、26名の方が町長より委嘱を受けている。活動としては、3年間の目標をたて、その後「健康印南21計画」を作成する。それが出来れば地域住民に対しまして健康づくりの推進や啓発をしていこうとするものです。



## 受動喫煙の防止に ついての取り組みは

**質問** 健康増進法(平成15年5月1日施行)第25条の受動喫煙防止について、当町の取り組みについて答弁願います。

**答弁** 参事

全面禁煙しているのは切目社会教育センター、保健センター、みずほ会館、小・中学校です。

受動喫煙については他に書を与えることから、今後検討を加えていきたい。

## ケーブルテレビ対策は！ (平成23年アナログから デジタルへ全面移行)

**質問** 平成23年、(ブロードバンド化でインフラ整備され)テレビがアナログからデジタル化されます。

電話、行政放送等、利用度の大きいケーブルテレビの導入について当町としての取り組みはいかがですか。

**答弁** 参事

行政面での取り組みといえば、行政放送等であると思っています。

近隣町から、この事業への

誘いもあつたが見合せている。町管理のものについては町で考えねばならないが、20位共同受信施設があつて、それらについては取り組み考えはありません。

## 公民館図書の実度は(近隣市町との比較)

**質問** 当町公民館図書について、蔵書冊数、貸出冊数、図書予算額は別表のとおりです。近隣市町の何分の一というほどに少ない。

生涯学習は「自学自習」をモットーにしています。また、「町民の教養」「社会教育の実実」を考えると、他町並みに図書充実の施策を講ずるべきと考えますが、いかがでしょう。

ようか。

**答弁** 教育課長

検索システムの整備、児童に対する読み聞かせボランティア、他に県図書のインターネットでの借り入れも出来るシステムになっている。利用方法をもっとPRしていきたい。



16年度近隣市町図書冊数・貸出数比較表

	印南町	御坊市	美浜町	南部町
印南町一般書	7,186	63,265	37,142	50,761
児童書	2,163	39,153	24,927	32,590
児童書	5,023	24,112	12,215	18,171
雑誌	48	56	44	135
A V	78	1,373	521	1,638
貸出者数	2,432	47,295	14,171	36,711
貸出資料	7,100	151,163	39,842	109,550
印南町民登録者数			46	496
貸出利用冊数			199	5,654
資料費購入予算				
平成16年度	100万円	405万円	450万円	870万円
平成17年度	150万円	385万円	400万円	870万円

※南部町は15年度



西山徹 議員

# 印南町バス使用について



印南町バス

**質問** 町の財産は町民の財産であり、その財産の一つに町バスがあります。このバスを使わせてほしいという声がありますが、スポーツ少年団や地域グループなどに使用できないか。

**答弁** 参事

町の行政執行上、支援が必要とした活動については、行政の責任において最大限活用を図っていききたい。



しよくの祭典で兵庫県稲美町との交流



## 交流のまちづくり推進について

**質問** 今年のしよくの祭典は、10周年を迎え、交流事業を実施したところ、結果として大きな効果を上げたところであり、継続することで交流事業としてより発展させることが大切でないかと考えますが交流人口の増加を図るための交流事業の確立について伺います。

**答弁** 産業課長

多くの方が来ていただくことが地域の活性化につながるとして、しよくの祭典の10周年記念としての兵庫県との交流は、民間と民間との交流として意義のあったことと、考えるところであり、まちづくり推進実行委員会の方で、今後の方向付け等も考えていただきたい。

## 市町村合併について

**質問** 市町村合併の第一幕では、「内なる充実」をすることということでしたが、第二幕として、新たな合併の枠組みとして、御坊市、由良町、日高町、美浜町、印南町の1市4町か、日高川町を加えた1市5町が候補として取り上げられています。枠組みが出された後、印南町はどのような対応をされるのかお伺いいたします。

**答弁** 町長

出た枠組みの市町と協議をしながら皆さんと協議をしながら進めることとなります。

**再質問** 町民の意見の中には、みなべ町と合併すると思っているが、意見やアンケートをとる考えはありますか。

**答弁** 町長

みなべ町は生活圏が田辺です。農協が合併したから行政も合併するという論は成り立たない。枠組みが出た時点で相応の措置はしていきたい。

# 東南海・南海地震対策について

## —避難路として橋の耐震強化を—



谷井長平 議員

**質問** 津波から命を守るためには橋が不可欠の集落があります。橋の耐震性はどうか。

**答弁** 建設課長

町内に橋長15m以上の橋梁は58ヶ所あり、いずれも施工年度の設計基準で設計施工しています。昭和30年代の橋もあり、耐震性について懸念するところですが、

耐震調査については有利な事業等に対応したい。補強については今後の研究課題となっています。



橋の耐震性は？

### 急がれる防災工事 切目川河口周辺

**質問** 島田マリンパーク大橋左岸側の約150m間は、海抜も低いし防波堤もなく、津波浸入の心配が大了。早期改善の考えは。

**答弁** 建設課長

県当局と国道事務所へ現地調査等お願いしているところです。今後、地域住民の協力のもと、関係当局へ強く要望したいと考えています。



津波対策としての護岸改善を・・・

### 津波に対応できる 水門の設置を

**質問** 遠隔操作可能な水門への改善についての考えは。

**答弁** 建設課長

現在、切目川河口整備計画で、瀬戸川への逆流防止水門の実施設計をしていて地元関係者と協議の上、県工事として取り組みたい

現在、施工している他の水門の改善については県工事で施工しており、県では改善の考えはないと聞いている。

しかし、良い補助事業があれば研究していくと聞いているので、今後、県とも相談して事業化していきたい。

### 土砂災害について

(土砂災害危険箇所645箇所)

**質問** 異常気象等で、全国的に集中豪雨が多く発生。町内でも新たな災害危険箇所の把握と周知が求められますが。

**答弁** 建設課長

町内では土砂災害危険箇所として、急傾斜地約400箇所、土石流232箇所、地すべり13箇所の計645箇所あります。

防災対策として、国費事業、県費事業等で要望を受け、それぞれに順次対策工事を行ってきています。

なお、土砂災害から町民の生命を守るため、土砂災害の恐れのある地域について県とともに周知を行っていき

### 集中豪雨 あなたの家は大丈夫？

**質問** 情報伝達、避難体制の整備はどうか。

**答弁** 参事

まず自分の住む地域について、どのような災害を受けやすいかについて関心をもっていただきたい。

町では県と連携し、災害発生箇所について必要に応じて情報提供、周知を図っていき

たい。  
避難体制については、地域防災計画保存版としてハンドブックを提供していますが、年数もたっているため、今後防災計画の見直しとも併せ避難計画について、機会を得て周知をしたいと考えています。



集中豪雨による田畑の冠水





廣野英幸 議員

# 農 業 振 興

## 立て直しが必要な農業立町：印南町

**質問** 農業問題について、産地を守るためにマイナー品目への必要な農業拡大は。

**答弁** 産業課長

農家の方々が苦慮していることは十分承知しているところであるが、法の基として農家の方々にはご理解いただけていると考えますが、今後、県やJAとも協力しながら対応していきたいと考えます。

### 付加価値をつけたブランド化対策は

**質問** 環境保全型農業について、付加価値をつけたブランド化対策として、誘蛾灯の設置を。

**答弁** 産業課長

害虫を排除するには今後どのような対応が一番有効か調査研究し、誘蛾灯が有効であれば対応していきたい。



現在は妨蛾灯が主流・・・

**質問** 遊休地（耕作放棄地）対策についてお伺いします。

**答弁** 産業課長

18年度において耕作放棄地の所有者、面積、活用できる土地の選定、貸し手、借り手等、関係機関の協力を得ながら調査し、耕作放棄地の改善に努めていきたいと考えている。

### 意識改革での後継者対策は

**質問** この程、JAMニトマト部会が日本農業賞県代表に選ばれ大変喜ばしいことである。

これを機会に、何とか意識改革を行い、若者に関心を持つてもらふことが出来ないか。

**答弁** 産業課長

特にという取り組みではないが、西ノ地区、津井地区、宮ノ前地区では場整備や耐候性ハウス等、近代化農業への取り組み、県就農センターでの研修の呼びかけを行っている。

### 子育てと地域の役割（教育のまちづくり）

**質問** 最近、女子児童誘拐、殺害事件が全国各地で起きている。何とも残念で痛ましいことである。

また、幼児の虐待、いじめから自らの命を絶つといった、考えられないことが起きている。

こうした時代を背景に、いかに人づくりが大切であるかということを感じます。

子育ての基礎基本は家庭であり、家庭環境を整えることがまず第一である。

当町において次世代育成支援行動計画が策定され、基本目標を立ち上げ、取り組まれています。現在の成果はどうですか。

**答弁** 教育長

伸びる芽を育てる人づくり、ふれあい、助け合い、安心の子育てを基本理念として7つの目標がある。

子供の心身の健やかな成長支援

子供の個性と創造性を育て人づくり

地域における子育て支援

職業生活と家庭生活の両立

地域の子育て機能の向上と住民参加の促進

子供の人権の擁護と要保護児童へのきめ細やかな取り組みの推進

子供にやさしい安全なまちづくり

の推進に取り組んでいきたい。



安全対策を万全に・・・

**再質問** いま、子どもを巻き込んだ犯罪が多く発生していますが、町内の対策は出来ていますか。

また、行政放送で、町民の皆さんに呼びかけ、協力してもらふ方法はどうか。

**答弁** 教育課長

学校内への不審者侵入訓練、通学途上の安全対策として「きしゅう君の家」対策、老人会の皆さんにも散歩の時間を帰宅の時間に合わせて守ってほしいと呼びかけている。

行政放送での呼びかけも出来る対応であれば取り入れていきたいと思えます。

# 「委員会活動報告」

## 総務文教常任委員会

### 学校の統合と環境整備について

10月28日、森尾教育長、山下教育次長から説明を受けました。

学校の統合については、横川小学校と切目川小学校が18年4月に統合すること。真妻小学校と上洞小学校については、複式学級の解消が極めて重要であるということから4校統合が望ましいということを教育委員会で確認をし、現在真妻区長に理解をいただけるようお願いしているところである。

しかし、真妻中学校、小学校2校、真妻出張所、真妻運動場、体育館など公的機関、施設がなくなるといふ、教育面だけでは語れない部分もある。

稲原西小学校については、道路の整備が進み、通学の安全性も進んでいることから稲原小学校との統合を進めていきたいということである。

委員の意見として、横川



教育長から説明を受ける

小学校と切目川小学校が18年4月に統合することが決まっているにもかかわらず、その対応が遅い。特に横川校区の遠くから通学している児童についての対応を考えるべき。

4校統合については、真妻の父兄にしても2校統合ということはもっていないと思うが、最も遠いところで、23kmという距離が問題点であること、清流中学校区という中で小学校を1つにしていくべきと思うなど。

学校の環境整備について、特に空調設備について質疑が行われた。教育委員会としては、給食の調理室については、最優先に位置づけている。印南小学校のランチルームにつ

いては、食事時で33度という日もあり、この対応と校長室、職員室についてもできるだけ早急に対処していただきたい。

その他関連として、アスベスト対策、幼保一元化への早急な取り組み、公共施設での喫煙、図書の実態について調査を行った。

### 児童の防犯対策について

12月20日、印南町の取り組みについて森尾教育長、古田教育副委員長から説明を受けました。

このことに関したことは、県教育委員会や警察から指導、通達があります。教育委員会の対応としては、学校により防犯ブザー、笛を児童に持たせたり、不審者が侵入してきたときの訓練を実施している。

委員の意見としては、印南町は体制づくりが遅れており、校長、教頭がPTAの会合を積極的にに行い、教育委員会にリーダーシップをとっていただきたい。

児童数が減っている中、帰宅の時間を町内放送で知らせ、町全体で防犯体制を行うなど、児童の防犯対策ということで、調査を行いました。

## 厚生常任委員会

### 現状と課題を話し合う

10月31日、委員会を開催し、住民課長、両館長から設置目的と現状を聞き、今後の課題について話し合いました。



隣保館事業について調査

### 一・隣保館の設置目的

同和対策特別措置法を経た、地域改善対策特別措置法に基づき、「国民的課題である同和問題解決に資するために各種事業を行い、地域住民の生活改善や人権意識の向上」に寄与してきましたが、平成14年度から社会福祉法に基づき、「地域社会全体の中で住民交流の拠

点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談事や人権課題解消のための各種事業を総合的に行う」ことを目的に事業を行っています。

### 二・方針及び事業内容

#### 「切目社会教育センター」

子ども達が安全で利用しやすいセンターをめざし、隣保館事業として重要な相談事業を行い、地域住民による自主運営を目指すことを目標に休日開館事業を取り入れ、各種教室（パソコン、硬筆、書道、生け花）、自主運営のサークル（大正琴、茶道、民踊、アレンジフラワー、カラオケ、子育て）、子ども事業（科学教室、オープン・アート、パソコン、夏休み教室）、交流事業（子どもの日、クリスマス、ふれあい交流会）などを行っています。

#### 「みずほ会館」

情報化時代に伴うニーズが高く、これまでの事業（生け花、硬筆、毛筆、切り絵教室）に加えてパソコンやインターネット学習を多く取り入れるとともに、地域づくりの拠点としては、親子の集い、自然観察会、花の種銀行学習会などを行

い、各種相談の機会も設けています。



パソコンからの映像で説明

### 三・質疑応答

内容は充実しているが、本来の目的である相談事業が少ないことについて公民館的な仕事内容であるが隣保館の必要性について

住民課を含めた現在の職員体制について

概ね、この3点について論議がなされ、その後、両館を視察して、委員会を終わりました。

### 産業建設常任委員会

10月27日午後から「農業問題の研究」について、「土木建設事業の調査」についての2件について調査を実施しま

した。

まず「農業問題」については日高振興局農業普及課より鈴木主事、久保技師、滝口産業課長より説明を受けた。

一 農業取締法とは農業について登録の制度を設け、販売及び使用の規制を行うことにより、適正な農業使用による安全な農産物の確保に寄与するとともに、国民の健康や生活環境を守るために定められたものである。

平成14年夏以降、無登録農業が全国的に使用されていたことが社会問題となり国民の「食」に対する信頼を回復するべく取締法が大きく改正され、平成15年3月10日から施行されている。

二 農業登録には何十億といわれる費用と10年、20年といった長期の実験等を経て、初めて登録、使用できるわけです。

経過措置2ヶ年も含め、いよいよ平成18年3月10日から改正法が本格施行され、これに伴い食品衛生法においても大変厳しくなるわけです。

もちろん、このことは外国からの輸入品目にも目を光らせることにもなるわけです。

三 規制となる農業対象物には殺虫剤、殺菌剤、除草剤、植物調整剤、展着剤等があり、最近使用が増えつつある木酢液は今のところ特定農業になっていない。

四 マイナ作物とは全国の生産量が概ね3万トン以下のものをいい、食品衛生法による残留農薬基準とも相まって生産が難しくなってきたおり、当町の豆類やレタス等が支障をきたすことになる。今まで使ってきた農薬が使えなくなるということだ。

五 今後の対策として、改正農業取締法の周知徹底、黄色青色蛍光灯や防虫ネット、またハウスの中に循環環境扇を設置して、病害虫が減る方法を考えなければならぬ。

六 以上のような厳しい規制が運用されることは当町の農



農業について説明を受ける

業が、ますます難しくなってきた。土づくりをはじめ防虫ネット、天敵等いろいろ工夫して農業を守っていかなければならぬと結論づけた。

### 印南町の入札関係について

土木建設事業の調査についても10月27日説明、質疑応答を行いました。

まず、中松建設課長から概要説明があり、湯川課長補佐から具体的な説明を受けた。

その後、榎本主幹からも質問に対する回答という形で、説明を受けました。

Q 過去3年間の指名入札は1事業に対し、平均何社程度か

A 印南町の指名は784社で、うち町内は43社です。平均5社から15社となっており、落札率については、15年度93.82%、16年度93.88%。

なお、今のところ電子入札や一般競争入札は考えていないとのこと。

Q 業者のランク決めの基準はどのような内容か。

A 町内業者に対して土木・建設・水道・管工事の4業種となっており、

国交省の定めにより職員数、経営状況等勘案され、土木建設だとAランクからDランクまであり、Dランクで500万円未満とかなっており、業者選定については建設工事請負業者選定委員会検討されている。

Q 現在、実施している工事または事業は。

A 主なものとして交通安全施設の古井の歩道とか、大峠、河川改修、島田の暗渠排水、大きな事業は稲原の柳畑白河線と真妻の日裏小敷線です。

これ以外に、ようやくスタートした島田田んぼの地籍調査などがあります。

説明会終了後、柳畑白河線の道路工事現場を踏査し、委員会を閉会しました。



改修が進む柳畑白河線を踏査

# 町内公民館めぐり

印南町内には5つの公民館分館がありますが、それぞれの地域で特色ある活動を続けています。今回は、その2として、「切目分館」の活動等をご紹介します。



切目分館長  
小竹 和美

## 切目分館活動に携わって

切目分館では、町の意向にそって3つの項目、つまり「食育」「読書」「歴史」を柱にして、切目らしい活動をしていこうと計画を立て実行してまいりました。

子ども達に少しでも本に興味を持ってもらうために、毎月第一日曜日に切目児童館で「絵本の読み聞かせ」などを行っています。

子ども達に本の読み聞かせをするということは、国語力の向上だけでなく、情操教育にもつながるものだと思っております。思いやりの心を持ち、美しいものを美しいと感じる心豊かな子ども達を育てるために、読書は最も大切なことだと思えます。

最近、コンピュータやテレビブームになり、読書離れの子ども達が増えており、また親も共稼ぎで忙しく子ども

達に絵本を読みながら寝かせるという習慣が薄らいできています。

少しでも時間がとれたなら、子ども達と接してください。あなたの子ども達が未来を担う人材となっていくのですから・・・。

## 「食育」と歴史講座

「食育」は地域でとれた食材を集め、子ども達と一緒に献立づくりをし、食事をしながら米や野菜の収穫までの勉強や、その1つひとつのありがたさを去年のうちで学ぼうと思っていたのですが、時間の調整がとれず今年に延びてしまいました。

「歴史講座」では、地域の歴史に触れようと8月に切目神社巡りをしたのですが、あいにくの雨で、出席者が少なかった。

今年の1月に、高齢者と子ども達を交えての歴史講座としてカルタ取りや百人一首、お手玉づくり等を計画しています。

この機会にお年寄りから子ども達に伝えたいこと、子ども達からお年寄りに聞きたいこと等、たくさん意見が出て、両者の交流が図

れればと思っております。

10月の切目地区体育大会は、区長さんをはじめ体育役員さんのお陰で、190名の参加を得て、盛大にやる事が出来ました。

切目地区は、島田、西ノ地、高垣、上道、元村の5地区からなっております。

切目分館の運営体制は、環境部、文化部、体レク部と3

部門にそれぞれ14名と分館長、主事の44名で構成されています。

ちなみに、切目の住民の数は、大人が2,360人で子どもが359人、合計すると2,719人だそうです。この人達皆が仲良く幸せに暮らせるように、少しでもお役に立てればと思っております。



切目地区体育大会での表彰式

あめがき

あけましておめでと  
うございます。

輝かしい二〇〇六年の幕開けは皆様方にとって夢多き、幸多き年でありますように・・・さて、昨年は何かといらだちを感じる数々の事件がありました。日本は、地球は、どのようになつていくのだろうと越年したわけですが、本年も我が町の多くの課題に立ち向かつて知恵を出し合い、印南町に住んで良かったと言えるまちづくりのため、私共も頑張りますので、どうかご協力、ご鞭撻の程、お願い申し上げます。

委員会 一同

議会広報特別委員会  
委員長 榎本 一平  
副委員長 畑中 豊  
委員 藤本 良昭  
堀口 晴生  
西山 徹  
谷井 長平